

「初任総合教育（第24期）実科訓練査閲」開催!!



去る9月28日（月）、宮城県消防学校において「初任総合教育（第24期）初任教育実科訓練査閲」が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、まさに査閲日和の中、初任総合教育学生85名（うち塩釜地区消防本部8名）が、「訓練礼式」、「ポンプ車操法」、「救急訓練」、そして「総合火災防御訓練」など、合計10種目に及ぶ訓練を披露しました。



各所属の消防長等が見守る中、学生は緊張のなかにも自信と決意に満ちた表情で、半年間の訓練成果を発揮すべくハツラツと各訓練を実施、学校に入校したころとは心身ともに大きく成長した頼もしい姿を見せてくれました！



三連はしご救助訓練

10月からは、初任総合教育の「救助科」課程が始まり、より専門的で厳しい教育を受けていきます。そして、来月11月からはそれぞれの所属消防本部に分かれて、約2か月半にわたる実務研修が開始される予定です。より遅く成長した皆さんに会えることを職員一同楽しみに待っています。



防火衣着装訓練



火災防御訓練